

## 【編集後記】

会誌「熱測定応用研究グループ」の主査に就任すると同時に、「熱測定」誌の編集委員会に加わり2年が過ぎようとしています。その間小生としては編集委員会で十分な活動ができず、委員長の高橋先生をはじめとする他の編集委員の方々に迷惑をかけながら、一方で編集委員会に参加できて有意義に過ごせたというのが偽らざる気持ちです。その間編集委員会では定期的な会誌発行を続けながら、「熱測定」誌の質的向上と本来の役割を果たすために何をすべきかということでもいろいろ議論し、アンケートを取るなどの活動に取り組んできたのはご承知の方もいることと思います。本誌を会員間の議論、意見・情報交換の場として積極的に活用すべく、皆様からの記事、論文のご投稿を願っております。

話題が変わりますが、1ヶ月前の6月1日～3日、関係者の方々のご尽力で『第2回国際及び第4回日中熱測定シンポジウム』がつくばで開催され、成功裏に終了したことを

まだ記憶されている方もいることと思います。今回の中国側の参加者が若手からベテランまで世代が分散し、学会レベルの国際交流でも中国がふつうの先進諸国のようになりつつあるのかなという思いを抱き、好印象をもちました。研究は特に個人あるいはグループのoriginalityに負うところ大であることから、民主化(?)、現代化が進展して草の根の研究交流が本シンポジウムを通して進展することを願わずにはられません。ただ、有機・高分子分野の専門である小生には今回の参加者の専門分野が無機、低分子分野に偏っていたのが気にかかる点でした。これは中国側の学会事情によることなので仕方のないことかもしれませんが……。まもなく21世紀の幕開けとなる現在、本シンポジウムを通して普段着の国際交流を着実に進展させることが本学会の役割の1つと確信を深めたいです。

(前田洋治)

正誤表 熱測定 Vol.26, No.2, ノート「ゼオライトヒートポンプの試作と継手」溝田忠人 他  
p.37 上から5行目 誤「……熱源として255 K程度の……」正「……熱源として373 K程度の……」

## 「熱測定」編集委員会

(委員長) 高橋克忠  
(編集委員) 八田一郎, 生田博将, 酒井夏子, 花屋 実, 前田洋治, 山崎淳司  
(地域編集委員) 土田 猛, 板垣乙未生, 増田芳男, 松井恒雄, 溝田忠人, 武田 清, 安藝初美

熱測定 Vol.26, No.3, 1999

昭和52年5月27日

第4種郵便物(学術刊行物)認可

平成11年7月25日 印刷

平成11年7月30日 発行

発行人 日本熱測定学会 高橋洋一

事務局 〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-6-7 宮沢ビル601

電話 03-5821-7120 FAX. 03-5821-7439 E-mail: QYZ05607@nifty.ne.jp

学会ホームページ <http://www.indchem.metro-u.ac.jp/jscta>

郵便振替口座 00190-5-110303